

ほんべつ 議会だより

No.69

平成26年5月1日発行



ピザを作って楽しく交流

3月28日 本別・南三陸ふるさと交流会（ピザ作り：ゲンキッチン）



第1回定例会

新年度予算113億4,423万6千円(前年比4.7%減)を可決

平成26年第1回定例会は3月4日に開会し、一般質問のほか一般会計他8会計の新年度予算、本別町学校給食共同調理場条例の全部改正などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例

・本別町学校給食共同調理場条例の全部改正
学校給食共同調理場が移転改築したこと、町立学校以外への給食提供を実施するために条例改正が生じたので全部改めるものです。



新給食センター

一般会計補正

中央小学校の連絡メールシステムとは

問 中央小学校の連絡メールシステムについて詳しい内容を。

答 緊急時の連絡等、従来は電話で連絡していましたが、短時間で確実に連絡できるように、携帯メールへ一斉配信します。
保護者のアドレスは事前に登録します。
携帯を持っていない方へは従来どおり直接電話連絡します。

本別高校への給食提供は

問 本別高校に対する給食提供について、協議の経過は。

答 高校には前向きに検討をしていたいただいており、教育委員会としては、来年実施に向け協議を進めていきます。



新給食センター調理室

問 常設保育所保育料の収入増と入所者は
少子化の状況で、中央保育所、南保育所の入所者が増えているのはなぜか。

答 中央保育所と、南保育所で、0、1歳児の子供が増えた状況です。それだけ働く親が増えており、施設や備品等準備してまいります。



中央保育所乳児室

**6月定例会は
2日から予定しています**

私たちの住むまちの議会です
どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

平成25年度 各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主 な 内 容
一 般 会 計	(2億8,601万5千円) 77億4,864万2千円	中央保育所乳児室トイレ及び手洗い器等改修工事 明渠排水調査設計委託、工事(農業基盤整備促進事業) 黎明橋橋りょう補修調査設計委託、幸栄橋橋りょう補修工事 [臨時会] 財政調整基金、減債基金、農業振興基金積立 国保特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、簡易水道特別会計繰出金、水道事業会計補助金、病院事業会計負担金、中小企業融資補助金 [定例会]
特 別 会 計		
国民健康保険	(△3,677万1千円) 13億2,383万2千円	国保税還付金一般被保険者分増 [臨時会] 医療費等最終見込による減額 国保連合会の全道分集計結果で、対象となる高額医療費等が減によることの調整 [定例会]
後期高齢者医療	(△166万6千円) 1億1,341万7千円	広域連合納付金、保険料等に係る負担金の確定により減 [定例会]
介護保険	(1,135万4千円) 8億9,159万7千円	居宅介護サービス、高額介護サービス、特定入所者介護サービス給付費、利用増による増 [定例会]
介護サービス事業	(△42万2千円) 2億7,764万8千円	執行見込による調整 [定例会]
簡 易 水 道	(△200万9千円) 1億5,882万円	勇足簡水、仙美里簡水工事事業費確定による調整 [定例会]
公共下水道	(△792万5千円) 5億1,125万6千円	汚水管渠新設工事、終末処理場機器更新工事事業費確定による調整 [定例会]
水道事業会計	(△348万1千円) 2億1,850万6千円	人事異動による人件費調整 量水器更新工事及び量水器購入費確定による調整 [定例会]
病院事業会計	(△1,136万9千円) 14億7,428万9千円	賃金、経費の決算見込みによる最終調整、器械、備品購入の事業費確定による調整 [定例会]

※臨時会第1回含む

15回目のナイター議会 に23名の傍聴者

3月11日午後6時から役場3階議場でナイター議会が開催され、3議員より3問の一般質問がありました。



傍聴者アンケートから

問 一般質問について、どのように感じられましたか。

- ・質問、答弁が長くてわかりづらいところがあった。
- ・再質問は答弁を受けてのものかと思うが、もっと要訳して質問してはどうか。
- ・多くの議員が、それぞれの立場で政策提案を。

第1回臨時会

開催日 2月6日

条 例

・本別町一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定

南三陸町からの人材要請支援において、勤務条件等の改善と働きやすい環境をつくることで、人材を確保し、復旧、復興のさらなる支援を進めるため、条例の整備が必要となり制定するものです。

問 当面、南三陸町への派遣に対して適用します。

答 ①南三陸町への派遣はどのような職員遣はどのようなのかな。
②人件費は国から補助が出るのか。
③民間の方の派遣は想定していないのか。

答 ①即戦力となる実務経験者と考えています。
②本町が支出した経費は、南三陸町から全額支払われます。

第1回臨時会

ますので、負担はありません。
③当面は役場OBで考えていますが、OBだけでは難しいので、民間も含めて考えています。

一般会計補正

幸栄橋、黎明橋の補修

問 幸栄橋の補修は、今回の補正予算の工事で問題は全面的に解消するのか。また、黎明橋の工事はいつ行つのか。工事までの間、橋の安全は大丈夫か。

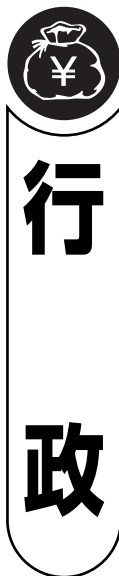
答 今回の工事で完全に解消されます。
黎明橋の工事は平成27年度予定で、それまで、安全性には問題はありません。



補修される幸栄橋

一般質問

4名の議員から8問



子ども未来課の概要は

答 課長以下4名で関係部署を所管
していきます



高橋利勝議員

健福祉課は総合ケアセンターへ移動となるが高齢者、障がい者、生活保護世帯など交通弱者への対応は。

高橋町長

①子育て支援策の強化と一体化については、平成24年度から2年間にわたり行政改革推進本部会議において検討し、子ども未来課の設置に至りました。これらを受け行政改革推進委員会でも適正と判断していただきました。

②子ども未来課については、児童福祉担当と子育て支援担当を置き、事務職員を課長以下4名として関係部署を所管していきます。

③生活保護世帯をはじめ高齢者や障がい者などの相談については、利便性が損なわれないよう進めていきます。

町政執行方針、具体的には

答 商工業の振興を推進します



林 武議員

林議員 基本的な考え方と施策の大綱について述べられています。具体的には、

①本別の資源、特性を生かした新商品の開発を担う人材の育成は。

②愛町購買意識の向上と魅力ある商店街づくりは。

③本別公園、道の駅など、施設の整備は順次、推進されていますが、静山研修センターの再利用の可否について、道の駅駐車場と出入口の利便性の向上については。

高橋町長

①本別町起業家支援要綱により新規開業と新製品開発費用の助成の実施。

②魅力ある商店街と愛町購買は密接な関係を持っていきます。商工会と連携を図り、商

工業振興の施策を推進します。
③文書庫や物置として災害時の機材の保管に使用します。道の駅は、年々利用もふえています。利便性の確保、満足度も向上させるため関係者から意見要望助言をいただき、駐車場、出入口部分も含め検討します。



新設された子ども未来課

以下3点について伺います。
①子ども未来課設置にあたって行政改革推進委員会でのような議論があったのか。
②子ども未来課の機構図はどのようなものになるのか。
③庁舎内の保



道の駅駐車場出入口

暮らし

歩道内の電柱などの移設は

答 交通量の多い所から優先順位を定め対策を検討協議します



山田鶴雄議員

山田議員 次の2点について町長の考えを伺います。

①歩道内の電柱や街路灯などが障害となり除雪のロータリー車が入れない路線が28路線、この内、移設が1〜2本

歩道の中の電柱

で済む路線が7〜8路線あり歩行者が安全に通行する上で早めの移設の取り組みについて。
②スクールゾーンの

標識で活字が消えたまま放置されているような状態の所もあり、撤去するか更新するか早めの対応を。

高橋町長

①現在、市街地の歩道はバリアフリー化を進めており、今後、団地などの交通量の多い所から優先順位を定め、対策を内部で検討協議の上、改善に努めます。

②スクールゾーンの標識は児童館や生活館などが保育所として開設した時に立てたものもあり、すでに役目の終わった所は地元自治会と相談のうえ、撤去します。必要な標識については更新するように致します。

子宮頸がんワクチンの接種に 対する考え方は

答 ワクチンのみだけでなく、子宮がん検診の受診を促進していきます

高橋議員

子宮頸がんワクチン接種による副作用が問題になっていきます。

その要因については、心理的要因、社会的要因とする厚生労働省と、ワクチン成分が影響しているとする脳神経科医など、見解が分かれ被害者家族に不安を与えています。

改めて本町の子宮頸がんワクチン接種に対する考え方を伺います。

高橋町長

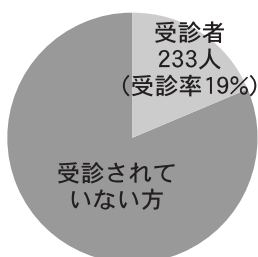
子宮頸がんワクチンの接種につきましては、平成25年度からは、予防接種後の改正により定期接種の対象として事業を実施しています。ただ、子宮頸がんワクチンは副反応が報告されており、厚生労働省から昨年6月14日付で定期接種を積極的に推奨すべきでないとの勧告が出されました。

本町におきましては、これまで

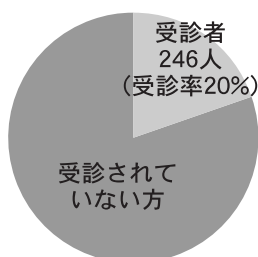
で副反応の報告はありませんが、厚生労働省の通知に基づき、今後も希望者のみにワクチンの接種を実施していきます。また、ワクチンのみだけでなく子宮がん検診の受診も促進していきます。

子宮がん検診受診者数(本別町)

平成25年度(2月まで)



平成24年度(4月〜3月)



(対象者数1,250人)

介護保険改定案の骨子とは

- ・2015年度から一定以上の所得（単身280万円以上、夫婦359万円以上）のある人の自己負担割合（現行一律1割）を2割に引き上げ。さらに、単身で年金が383万円以上あれば、「高額介護サービス費」の上限額（現行1カ月37,200円）を44,000円に引き上げ。
- ・「要支援1・2の人への訪問・通所介護サービスを市町村に移すなどして給付増の抑制。
- ・特別養護老人ホーム（特養）の入所を原則、症状の重い「要介護3」以上に限る。
- ・65歳以上の低所得者向けの保険料軽減措置を拡充する。



介護保険改定の議論、その影響は

答 持続される制度となるよう意見を言っています



阿保静夫議員

阿保議員 厚生労働省は介護保険改定案を次々に示しました。その柱は利用料負担増、要支援1、2の通所や訪問介護を保険給付から外し、町村事業に任せる、特別養護老人ホームの入所条件を「要介護3」以上にするなどです。

①本町の「要支援1、2」の方への介護サービスはどのような状況か。②特別養護老人ホーム入所者の介護度の状況は。③本町として国の介護保険制度見直しの方角についてどのような影響があると考えているか、またその対応について伺います。

高橋町長 ①要支援1が45人、2が19人で、町の事業（地域支援事業）の対象となる方は

29人です。

②特別養護老人ホームの入所者48人中、介護1が2人、介護2が2人です。

③国の都合で制度変更がされては現場は混乱します。自治体が努力しつつ持続される介護保険制度となるように今後も意見を言っています。



デイサービスの様子



農業

農業振興をさらに進めるには

答 営対協に新作物研究などの部会を新設し、積極的に活動します

阿保議員 平成26年度執行方針では、本町農業は「本町の経済社会の基盤として大きな役割を果たしている」と明示され、担い手対策ほか新規作物の調査研究、畜産対策、基盤整備など具体的な取り組みが挙げられています。現場の生産活動や集荷、販売などは主に農協の役割ですが、特に新技術や新たな作物の導入、1次、2次加工の研究等について、行政の果たす役割は大きいと考えます。

行政として新規作物や新技術開発、研究などについての今後の取り組みを伺います。

高橋町長 農業の振興は最も重要な課題です。営対協で新規作物導入の調査研究を行うため、別に部会を設け進めていく考えです。

阿保議員 職員から農業振興についてのアイデアを募るような仕組みも作るべきと考えます。

高橋町長 新年度で課長等会議の中に、必ず職員の提案事項が入っているのです、そういう中にアイデアがあります。



種イモの消毒



教 育

本別ならではの平和教育を

答 道内では類を見ない取り組みで、本別ならではの平和教育を進めます

阿保議員 教育行政執行方針で「7月15日本別空襲を伝える」企画展を開催し、歴史学習や平和学習の場としての活用を図るとしています。未来を担う子どもたちに戦争のあ



語りべの話に耳をかたむける

やまちについて、何があやまちであつたかを考え、あやまちを繰り返させないために自分ができることを考えていけるような学習の場を提供していくことが平和教育の当初の目的になうものと考えます。

とりわけ空襲を受けた本町ならではの平和教育が期待されますが、本町における平和教育の取り組みと推進の考え方について伺います。

中野教育長 「7月15日展」は道内では類を見ない取り組みです。期間中は郷土学習の一環として町内小中学生が学習、見学等を行っています。

また、平和を考える図書コーナー、映像記録の保存、新たな語り部の発掘等に取り組みなど、本別ならではの平和教育を進めています。

新年度に向けての本別高校の間口確保の考え方は

答 支援策を拡充し本別高校の教育を考える会などと協力し取り組んでいきます

高橋議員 管内の公立高校の出願状況が発表されました。その中でも上士幌高校は2間口以降で初めて定員を上回る出願となりました。

それぞれの高校を取り巻く環境が違いますから、一概に比較はできませんが、努力すればできるという可能性を示してくれたと思います。

本町においても考える会を中心に積極的に取り組んでおり、新年度の当初予算では昨年度の倍の1,900万円の当初予算が計上されています。改めて新年度に向けての本別高校の間口確保の考え方や取り組みについて伺います。

中野教育長 本別高校の出願状況は最終的に67人になり、これまでの入学者確保への取り組みに大きな成果があったと考えています。

しかし、来年度は本町の中学校卒業者は51名という状況になりますので2間口確保は大変厳しいと認識しています。平成26年度より支援策を拡充し、本別高校の教育を考える会、関係団体と協力して取り組んでいきます。



本別－浦幌線のバス停

一般会計予算は63億7,556万4千円(前年比9.7%の減)

平成26年度各会計予算審査特別委員会(方川英一委員長ほか9名)は、3月17日、18日に行われ、一般会計ほか6特別会計、2企業会計の予算案を原案のとおり可決しました。本年度予算編成に当たっては、総合計画に掲げた主要課題である「新たな仕事づくりの創造」「少子高齢化、過疎対策」「高速道路路網・高速通信網の利活用」「循環型社会」「地産地消」の推進を基軸に、地場産業の育成・振興と、安全安心な市民の生活基盤の向上を図るとともに、予算の重点化、効率化に努め、将来の自主財源の確保など、財政基盤の確立に配慮した予算となっており、全会計をあわせた予算総額は113億4,423万6千円で、対前年度比4.7パーセントの減となっています。主な質疑内容は次のとおりです。

一般会計

いた方から贈呈します。

ふるさと納税

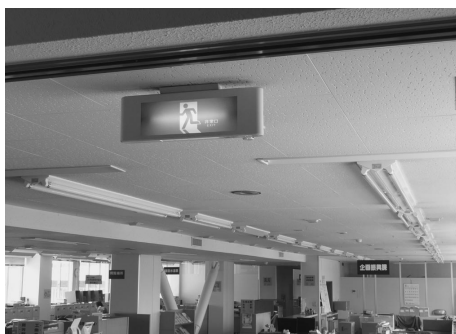
問 ふるさと納税者への特産品を新たに送付する内容は。

答 本別町に住民税を納付していない方で、年1回、1万円以上寄付をした方が対象です。1万円から5万円までは5千円相当、5万円から10万円未満までは1万円相当、10万円以上につきましては3万円以上で、キレイマメセットや季節に応じたアスパラ等を考えています。
平成26年度寄付をいた

役場にLED蛍光灯

問 本庁舎のLED蛍光灯設置による節電の目標値はどのくらいか。何年くらいで費用対効果が出るか。

答 庁舎内514本の蛍光灯全てLED化を考えています。年間の庁舎電気料約350万円のうち、蛍光灯部分は150万円程の試算になります。LED化により電気料は半額になると考えていますので、年間75万円程度がかかる見込みです。



LED化される庁舎

設置後8年以降に効果が出ると考えます。

生活維持路線運行

問 ①高校の通学を含め、利用が拡大しているが、マイクロバス的大型化は。

②一般の方の利用人数は。

答 ①新年度の見込みですが、通学生が27人プラス一般の方が乗車されるので、マイクロバス以上のバスの想定も考えています。
②24年度の実績で、全体の6,821人中、一般の方が1,010人、14.8%程度の利用がありました。



通学生の足 生活維持路線

チャレンジ雇用

問 チャレンジ雇用を行っているが、新年度は新たな人が採用になるのか。将来的には就労支援ということだが、今の状況は。

答 昨年度から引き続き採用をして、もう1年訓練をし、3年目に一般就労を目指します。

除雪サービス事業

問 ①就労センターへの委託内容と世帯数は。
②除雪に出動する基準は。

答 ①65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦世帯、重度心身障がい者世帯の方で、除雪の労力等の確保が困難な方が対象で、72件の登録者の対応をします。
②出動は10センチをめぐりにしていますが、登録者の状況に応じて確認をしながら10センチ以下でも対応をしています。弾力的に対応はしていますが、就労センターで除雪を担う方が現在17人と少ない状況がありますので、地域の方の協力もいただきながら対応をしてまいります。

第3子以降の子育て支援

問 第3子以降の保育料は無料になりましたが、幼稚園への支援につ

いては。

答

どのような制度で対応していくことができるのか内部で協議、検討をし、町の施策としてしっかりと応援させていただきま



先生と楽しく

中学生まで医療費を無料化

問

医療費助成の拡大による該当人数は。

答

ことし8月、受給者証の更新にあわせ課税世帯の小中学生の医療費、現在1割負担分を町で助成します。

拡大大部分の対象者は、乳幼児医療が413人、重度障害の方が2人、一人親が20人で、合計435人です。

バイオマス活用調査

問

調査の概要は。

答

生ごみを活用してバイオガスを発生させ、その熱を利用し、ハウス内で作物を作ったり、売電等の方法は取れないかについて、先進地視察をして、本町での導入の可能性を調査、研究していきます。

営農指導対策協議会予算

問

前年より100万円程度ふえているが、もつと増額し、6次産業を含めた対策を進める必要があるのでは。

答

今の輪作体系の中に入るような第5の作物種や、今後推奨していく新しい作物について、何ができるのか、営農協で検討していきたいと考えています。新年度については調査研究に係る予算を計上しました。必要に応じ補正で対応を

していきます。



生育が心配な小麦畑

山林不在地主の流動化対策

問

新しく3万1千円の予算がついているが、どのような内容か。今後の造林未済地解消に向けての考えは。

答

本町に山林をもっている所有者の方の中で不在地主の方に、山林をどのようにしていきたいか意向調査をする費用で、町外に在住している13人の方が131haの人工林の伐採跡地を所有しています。しっかりと調べて連絡を取りながら造林未済地の解消をしたいと考えています。

森づくり推進事業

問

森づくり推進事業は、今までは個人負担が必要な状況でしたが、負担はどの程度減額されるのか。

答

国、道、町の補助金でおおむね持ち出しはなくなると考えています。

保育の部分は補助金を増額しますので、ほとんどからしないことをPRしていきます。

カラス駆除対策

問

①駆除対策の箱ワナの内容は。
②希望者に貸し出しはあ

るのか。
③昨年の捕獲実績と本年の目標数は。

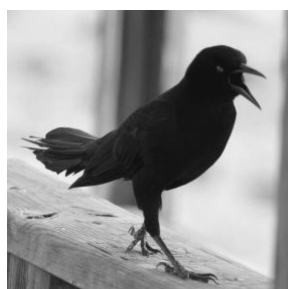
答

①業者で用意する箱ワナで、約2m×4m、高さ2m程度の箱の中に、おとりカラスを入れ捕獲します。被害がひどく駆除要請のあるところに設

置を考えています。

②カラスの捕獲にも免許がいります。ワナ免許所有者にお願いするため猟友会が管理をし、一般の方に貸し出しはできません。

③平成25年度は250羽程度の捕獲を予定しています。26年度も同程度の捕獲を確保するよう努力します。



起業家支援奨励事業

問

平成26年度におけるの見通しは。

答

新規3件、新商品開発3件で予算計上をしており、関係者への支援をしていきます。空き店舗対策やものづくり、働く場をつくるなど、様々な要素を含んでいる事業です。で、引き続き最大限取り組みを進めていきます。

ほんべつ学

問 どのような進め方をしていくのか。

答 本別にしかない魅力や輝きを発見することができるよう、ほんべつ学という講座を新たに開設します。

地域の個性、文化、歴史産業等を伝えていく内容で、社会教育、図書館、資料館が合同で担当し、貴重な文化財を知る講座、本別の産品を食する講座等、約7講座を開催予定しています。

学校給食共同調理場

問 アレルギー食対応で増員する職員の業務内容は。

答 基本的には代替パ―トさんをふやして対応し、アレルギー食は除去食なので、別室で、専任の職員が行います。

御所の使用料

問 御所の使用料収入が増額になっているが、御所の利用についてどのように考えているか。

答 ほとんど全面改修でバリアフリー化にして、地場産木材を有効に活用しています。障がい者の方も非常に使いやすい施設になりましたので、重点的にPRをしていきたいですし、町外の方の利用もふやしていきたいと考えています。

総括質疑

問 消費税増税や年金の削減、福祉、医療の一部個人負担が増額と、高齢者や低所得者の方は大変厳しい生活状況に置かれるのではと考えます。

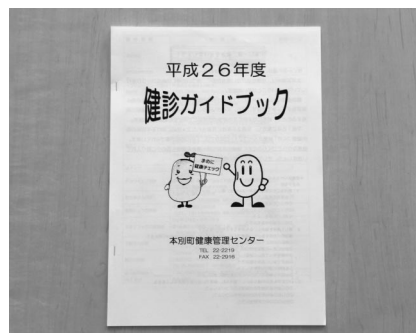
町民に寄り添っているいろいろな相談を受けたり、町民と話し合いをしながら予算執行を進めていくことが大変重要と思うが。

答 町民の皆さん方の暮らしをしつかりと守っていくことは大事な役割です。多少、生活が厳しくてもみんな力で合わせ多くの人たちと寄り添いながら、みんなでいい環境をつくり、しつかりとまづは役割をもちながら、それぞれの人生を楽しんでいた。だくことだと思っています。そんなまちづくりのために、この予算を執行し、しつかりと町をつくっていくたいと思っています。

国民健康保険特別会計

町民の病気の予防

問 予防事業や健康相談、あるいは健診などが医療費を下げる一つの近道だと考えるが、本年度はどのように進めるのか。特に相談事業について重要と思うが。



健診ガイドブック

答 健診ガイドブックについては、公共施設のほか各事業所等へも配布し、健管だよりでも繰り返しPRしていきますし、電話勧奨も未受診者に対して積極的に働きかけていきます。

地域への呼びかけは、機会を見つけて積極的に向

くことも考え、計画に入れないながら健診の重要性あるいは大切さをPRして呼びかけていきます。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料

問 北海道後期高齢者広域連合において、料金が改定になり、全体としては平均千円ほど下がったが、年金などの収入の少ない方は保険料が上がる内容になっている。本町における保険料はどのくらいか。

答 北海道の一人当たりは6万6千265円、本町では4万8千408円で、1万7千857円、道より27%ほど低い状況です。新年度は1,674円の増ということですが、本町では均等割の軽減判定が拡大となった2割、5割の枠の対象者が少なかったため、増の要因となりました。

意見書

第1回定例会では4件の意見書が提出され原案可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。

【要旨掲載】

地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書

地方自治体の臨時・非常勤職員の処遇改善、雇用安定のため、非常勤職員に期末手当や退職手当の支給を認めていない地方自治法を改正すること。また、均等・均衡待遇を求めているパート労働法の趣旨を、臨時・非常勤等職員に適用させる法整備をはかること。

提出者 高橋利勝



特定秘密保護法の廃止を求める意見書

特定秘密保護法は、人権を抑圧し、国家秘密を優先するなど、国民の権利を保障し、国家権力を抑制するという立憲主義や民主主義を根底から覆しかねないものです。よって政府は、国民の声を真摯に受け止め、「特定秘密保護法」を廃止することを強く求めます。

提出者 阿保静夫



TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

TPPは農業だけの問題ではなく、国民一人ひとりの暮らしや地域社会の将来に極めて大きな禍根を残す問題であり、国民的議論のないまま交渉を進めることは、決して国益にかなうものではない。

平成25年4月の衆参両院農林水産委員会における決議を遵守すること。

提出者

山西二三夫



集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書

集団的自衛権の憲法解釈の変更は、海外で戦争

できる国づくりの第一歩であり到底許されません。全国の世論調査でも反対が過半数を超えています。よって、集団的自衛権に関する憲法解釈の変更には強く反対するものです。

提出者 阿保静夫



反対討論 林議員

憲法改正なしでは、解釈の変更だけでは無理があるのではないかという議論があります。現在、国会でこの件に関しては議論され、賛否両論あります。どのような方向に進むのか、よく見極めてからこの結論を出したほうがいいと思いますし、国連憲章のもと同盟国、友好国との自衛権の確立は不可欠だと思っていますので、この意見書案には反対です。

賛成討論 高橋議員

安倍首相は、これまでの集団的自衛権の政府解釈を変更し、集団的自衛権の行使を容認しようとしています。

安倍政権の今日の集団的自衛権に対する動きは明らかに憲法9条に反対をいたしておりますし、いかなる状況にあらうと日本国憲法を守ることが第1でありますから、そういう意味で私はこの憲法上許されない集団的自衛権に関する憲法解釈の変更については、到底認めることのできるものではないと思っていますので意見書に賛成します。

採決の結果

賛成者5人 反対者3人で可決しました。

委員会云しポート

総務

常任委員会

調査日／平成26年1月30日

○各施設の利用状況と今後の施設運用のあり方について

●体力増進センター

築36年が経過し、町民の体力の保持増進に大きな役割を果たしています。利用者は、平成21年度4,572人だったが、使用料の見直しにより平成22年度は7,067人になり、現在も7千人以上利用されています。有料施設のまま今後

も維持管理を継続します。

●ふれあい多目的アリーナ

平成4年度建設され、平成16年度、傷みのひどかった人工芝を張替えし、平成21年度には、屋上防水改修工事を行っています。

利用者は一時ゲートボールの人口減少で5千人台まで減少、近年は、本別高校の部活や冬季少年団練習に利用され増加傾向にあり、平成24年度は9,862人

の利用がありました。

有料施設のまま今後も維持管理を継続します。

●パークゴルフ場

太陽の丘パークゴルフ場6コース54ホールを有する公認コースとして有料施設のまま維持管理を継続します。

・義経の里パークゴルフ場は、使用料を無料化し、観光の振興と高齢者や町民のさらなる健康増進を図る施設として利用していく考えです。

・弥生コース9千人台、勇足銀河コース、仙美里天の川コース共に3千人台で、無料のまま継続します。

○太陽の丘野球場の工事の進捗状況について

平成12年から14年にかけて粗造成を実施し、国の緊急経済対策の「地域の元氣臨時交付金」により平成25年度から建設が始まり、平成27年度からの供用開始を目指し工事を進めていると

ころです。

産業厚生

常任委員会

調査日／平成26年1月28日

○本町の障がい者福祉の取り組みと今後の状況について



建設中の太陽の丘野球場

身体障害者手帳の交付を受けている方は、平成24年度末で540人、うち障がいの重度者（1級、2級）が245人と約半数です。知的障がいがある方については、A判定者（重度）43

人、B判定者58人です。また、精神障害者保健福祉手帳の交付者は37人で、そのうち64歳以下の方は32人です。

II. 障がいに関する広報・啓発活動

① チャレンジ・ネットワークほんべつ

平成15年11月から障がい者施策への意見反映や地域活動などに取り組んでいます。現在、10団体と個人15人で活動しています。

② 障がい者週間記念事業

毎年12月の障がい者週間に創作劇などの参加型の啓発イベントを開催しています。

③ 銀河サロン

障がいのある方だけではなく、特別支援学級の生徒や高齢者など多くの人が交流できる活動（ダンス、カラオケ、食事会）をしています。

III. 生活支援

町、社会福祉協議会及び民間事業所などで障がいのある方の相談、生活、就労、居住など支援活動等を行っています。

就労支援ではチャレンジ雇用の実施、企業や個人事業者とのネットワークの形成、就労継続支援A型が開始されています。住宅の基盤整備では、グループホーム型住宅10戸の整備を平成27年度の建築を目指し、検討を進めています。

まとめ

生涯マネジメントシステムによる「ワンストップサービス」の実現が必要と考えます。

就労の場の確保、また、自立した生活を送ることができる施設の整備が必要だと考えます。



障がい者週間記念事業での創作劇

行政報告

第1回臨時会及び第1回定例会において、町長から行政報告がありました。
(抜粋)

第1回臨時会

2月6日開催

「子ども未来課」の設置

国の「子ども・子育て支援制度」や第6次本別町総合計画での少子化対策をもとに幼児期から青少年まで一貫した政策の実現に向けた組織体制が重要であると考え、子ども部門の独立を検討してきました。保健福祉課での検討経過をもとに行政改革推進委員会での協議を経て、「子ども未来課」を庁舎1階に設置することとしました。

これに伴い、保健福祉課内の社会福祉担当は総合ケアセンターへ移動します。生活保護等給付に伴うものについては、役場庁舎内に臨時窓口の開設により対応していきます。



子ども未来課窓口

消費税改定に伴う対応

消費税率及び地方消費税8%への引き上げについて、使用料等審議会に諮問し答申をいただき、水道料金・営農用水道料金・簡易水道料金・公共下水道使用料・個別排水処理使用料並びに国保病院使用料及び手数料並びにし尿等処理手数料については、消費税の転嫁を行うこととしました。

体育館、公民館等の各種公共施設など使用料は、平成27年度に見直しが予定されていることから、今回、転嫁を行わないことといたしました。

ゴミ処理手数料は、平成27年10月に合わせて検討、さらに各種検診料についても平成27年10月の改正時に

見直すこととしました。学校給食費は3パーセント分の引き上げを行うこととしています。



水道料も消費税転嫁

国民健康保険税に係る還付加算金の未払い

昨年末に新聞報道され、本町においても調査したところ、町民からの異動届け等によって発生した国民健康保険税の還付金に伴う還付加算金の一部未払いとなっていることが判明しました。

対象となるのは、平成18年度から平成24年度までに還付した国民健康保険税に伴う還付加算金31件です。大変御迷惑をおかけいた

しましたことをお詫び申し上げますとともに、法令に従って速やかに加算金の支払いの手続きを行っていきます。

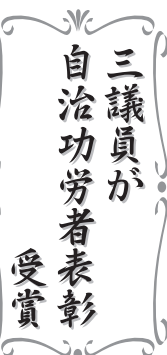
第1回定例会

3月4日開催

十勝圏における消防広域化に向けた検討経過について

運営計画（素案）のパブリックコメントについては、十勝圏複合事務組合が12月27日から1月26日までの1カ月間、十勝管内80カ所を実施し、本町においては役場・各出張所に閲覧・配布資料を配置し、各報道機関、ホームページ・町広報誌等で広く周知を行い、意見または提案をいただきました。

十勝全体で3名の方から6件のご意見が寄せられたところ。素案については原案どおり修正を行わず、運営計画（案）として2月、副市町村長会議で確認がされ、3月末までに成案を目指す予定です。

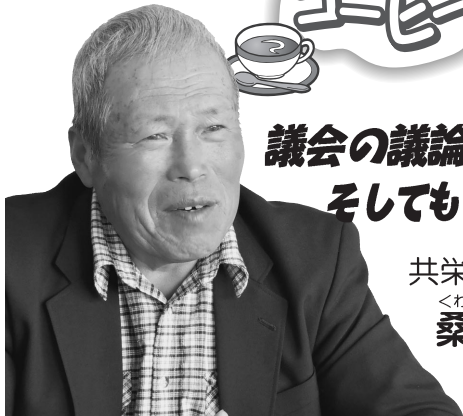
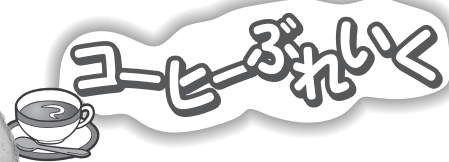


全国町村議会議長会より自治功労者として、本別町議会から方川議長、方川英一議員、山田議員が表彰されました。

三議員は、議員として15年以上で受賞。いずれも、長年にわたり地方自治の振興発展に貢献された功績が認められたもので、3月定例会の初日に、表彰状の伝達が行われました。



受賞された三議員



議会の議論は活発に そしてもっと突っ込んで

共栄1
くわ ばら かず よし
桑原 一喜さん

ナイター議会の一般質問を傍聴にいらしていた共栄一の桑原一喜さんにお話を聞きました。「コーヒーぶれい」は2回目の登場です。桑原さんは、12月や3月の議会傍聴にはよくいらしているとのこと。また「3月のナイターが一番良いと思う」とのことでした。今回の一般質問全体についての感想は、「質問者が偏っていて、町長もすんなり答えていたように感じました」「もっと多くの議員が質問してほしい」など率

直に述べていただきました。これからのまちづくりについては「町民の暮らしの問題に関心があります。買い物ひとつをとっても、地元で買わないで帯広などに行ってしまう。商品券への支援をもっと増やして少しでも町内で買い物をしてもらえるようにしたいのでは」と強調されました。桑原さんは昭和16年生まれで、約50年間農業に従事してきました。今は夫人との二人暮らしで、夫人は花壇作りに精を出しているそ

うです。今のところ2人で近くの温泉に行くことが楽しみのひとつのことです。一喜さんの趣味はパークゴルフで「あちこち無料のところに行ってるよ」とのこと。また、昨年は森林組合のパークゴルフ大会に参加したそうです。最後にこれからの議会に求めることは、「議会の議論は活発に、そしてもっと突っ込んで意見をしっかりとってほしい」「人材はいないわけではないと思うので、議員の若返りに期待し

たい」などを挙げられました。また、議員報酬（現在一般議員・月18万5千円）については「議員みんなが一生懸命議員としての仕事をやってもらえれば、別に高いとは思わない」とのことでした。議会だよりについては「頑張って読みやすいものを作ってほしい」など、議会の活性化にかかわるものが述べられました。

議会日誌

〔 2 月 〕

1/24～2/1日



- ほんべつ雪あかりナイト協力
- 6日 第1回臨時会、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 27日 第1回一部事務組合議会定例会（帯広市）
- 28日 議会運営委員会

〔 3 月 〕



- 3日 池北三町行政事務組合議会臨時会（足寄町）
- 4日 第1回定例会開会、議員協議会、議員会役員会
- 7日 議会運営委員会
- 11日 本会議（一般質問）、ナイター議会
- 12日 本会議（議案審議、予算説明）、広報広聴常任委員会
- 13日 予算審査事前勉強会
- 15日 帯広市本別会定期総会（帯広市）
- 17日 各会計予算審査特別委員会
- 18日 各会計予算審査特別委員会
- 20日 本会議（議案審議）
- 26日 池北三町行政事務組合議会定例会（足寄町）
- 31日 広報広聴常任委員会

〔 4 月 〕



- 7日 議会運営委員会、議員協議会
- 11日 広報広聴常任委員会
- 16日 町民懇談会（体育館、勇足地区公民館）
- 17日 広報広聴常任委員会、町民懇談会（健康管理センター、仙美里地区公民館）
- 18日 町民懇談会（美里別地区公民館、ふれあい交流館）
- 21日 十勝議長会定例会（帯広市）
- 23日 総務常任委員会所管事務調査
- 25日 産業厚生常任委員会所管事務調査、議員協議会、第2回臨時会、広報広聴常任委員会所管事務調査

議会の傍聴にお越しください

議場前のスペースを、傍聴者の方が気軽に休憩していただけるような場所にいたしました。是非、一度傍聴にお越しください。



資源を大切に——
ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。